

本プログラムは、企業のサービス開発支援に活用すると同時に、社会全体で活用していただきながらアップデートしていくことを想定しています。学生がサービス開発を学ぶ際や、自治体が行政サービスのデジタル化を検討する際に活用していただくことで、クリエイティビティとエンジニアリングの知識を併せ持つテクニカルディレクターの視点が世の中に広がり、社会全体のDXを推進する一助になると考えます。

hakuodo DXD は、4月に組成された戦略組織「HAKUHODO DX_UNITED」傘下のプロジェクトチームです。当社は今後、このような取り組みを通じて、企業や社会のDXを共に考えることを支援し、生活者と企業をつなぐ新しい価値の創造に貢献して参ります。

<参考資料>

■本プログラムの開発者

テクニカルディレクター 西濱 大貴（にしはまだいき）

慶應義塾大学大学院にてタンジブルインタフェースの研究を行った後、2011年博報堂入社。マーケティングシステムコンサルティング局所属、マーケティングテクノロジーセンター兼務。フロントエンド、バックエンド、ソフトウェア、ハードウェアなど幅広いテクノロジーに関する知見を持つ。テクノロジーの進化を生活者価値に変換し、企業やブランドのアップデートに関わるメディア開発やサービス&UX開発、ブランディングといった業務を得意とする。

受賞歴：ACCメディアクリエイティブ部門 ブロンズ

社外活動実績：デジタルハリウッド大学特別講師、『イノベーションデザイン 博報堂流、未来の事業のつくり方』出版協力、特許第6654721号 喫食判定システム、コンピュータプログラム及び情報機器

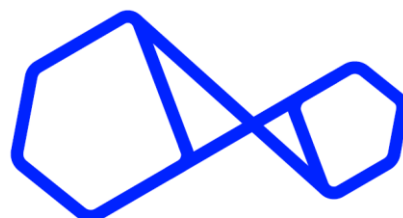
テクニカルディレクター 栗田 昌平（くりたしょうへい）

大学卒業後、電機メーカーにエンジニアとして入社。UI/UX開発、データ分析に携わり2014年より博報堂入社。データやテクノロジーを活用したデジタル体験やサービス・プロダクト開発、インストール制作業務などに従事。

受賞歴：ACCニューテクノロジー賞、ADFESTモバイル部門 ブロンズ受賞 等

社外活動実績：アドテック東京登壇 等

■「hakuholdo DXD」



hakuholdo DXD

システムやデータ基盤の上に、生活者視点で真の体験価値を実装するクリエイティブチーム。エンジニアリングとクリエイティブの両方の視点を持ち、生活者と企業の両方に価値のあるDXを実現します。（名称は“DX&Design”が由来）

■「hakuholdo DXD」が生み出すサービス／プラットフォームのイメージ

さまざまな顧客接点をデジタル化し、生活者に長く愛されるサービスを開発します。

- ・検討行動のデジタル化：AIを活用したリコメンデーション
- ・購買行動のデジタル化：ECとのシナジーを前提とした店舗、IoT化された自動販売機
- ・顧客化のデジタル化：オンラインイベントを起点としたコミュニティ
- ・ブランド全体のデジタル化：D2Cブランド、IoTサービス など